

東京音楽療法協会 主催

# 第22回講習会

2011年  
11月12日(土)・13日(日)

会場 : 日本大学芸術学部 江古田校舎

〒176-8525 東京都練馬区旭丘 2-42-1

## ■ プ ロ グ ラ ム ■

当協会の講習会は、臨床経験年数にかかわらず音楽療法士や音楽療法士を目指す方が、日頃感じている「学びたい」ニーズに応える内容を毎年企画しております。

特別講演では、自閉症スペクトラムの人々に40年に渡って関わり、TEACCHプログラムを日本に広めた佐々木正美先生に、その取り組みをお話しいただきます。全体講演では、儀賀理暁先生に被災者支援について、それから奥村由香先生に認知機能の障害に対する音楽療法についてお話しいただきます。分科会では、臨床現場で起きていることを事例検討やロールプレイを通して再検討していきます。また、研究発表に役立つ事例の書き方を学びます。さらに、臨床現場で用いる声や身体、音素材や音楽について、実際に体験しながら見識を深めていきます。

今年も盛りだくさんの内容になっております。実践者だけでなく音楽療法に関心のある方もふるってご参加ください。

| 11月12日(土)       |   | 11月13日(日)       |   |
|-----------------|---|-----------------|---|
| 10:00～<br>12:00 | <p><b>【全体講演】</b></p> <p><b>「“あたり前”であること<br/>～被災者支援のあり方を考える～」</b></p> <p>埼玉医科大学総合医療センター<br/>呼吸器外科・緩和ケアチーム 儀賀 理暁<br/>フェリス学院大学音楽学部</p>   | 9:30～<br>11:30  | <p><b>【分科会】</b></p> <p><b>④事例検討</b><br/>事例提出者：<br/>武蔵村山市高齢者 金子 二三代<br/>在宅サービスセンター</p> <p>コメンテーター：<br/>足立老人ケアセンター 山口 潤子</p> <p><b>⑤ワークショップ</b><br/><b>ロールプレイを通して実践を振り返る</b><br/>玉川大学 鈴木 千恵子</p> <p><b>⑥ワークショップ</b><br/><b>目的・場・タイミングに合わせた音・<br/>音楽の使い分け</b><br/>筑波大学附属大塚特別支援学校 根岸 由香</p> |
| 12:00           | 昼食休憩  | 11:30           | 昼食休憩  |
| 13:30～<br>17:00 | <p><b>【分科会】</b></p> <p><b>①ワークショップ</b><br/><b>息(いき)・声(こえ)・身体(しんたい)</b><br/>日本大学芸術学部 土野 研治</p> <p><b>②ワークショップ</b><br/><b>事例の書き方：</b><br/><b>「つたわる」事例を書いてみよう！</b><br/>東海大学 今村 ゆかり<br/>(医) 哺育会横浜相原病院</p> <p><b>③講義&amp;ワークショップ</b><br/><b>音楽療法士が音を感じる／<br/>理解する／奏でること</b><br/>洗足学園音楽大学・大学院 岡崎 香奈</p> | 13:00～<br>14:30 | <p><b>【特別講演】</b></p> <p><b>「私の自閉症40年史<br/>－TEACCHとのコラボレーション30年－」</b></p> <p>川崎医療福祉大学医療福祉学部 佐々木 正美</p> <p>司会：聖徳大学 村井 靖児</p>  |
|                 |   | 14:30           | 休憩  |
|                 |   | 14:50～<br>16:50 | <p><b>【全体講演】</b></p> <p><b>「認知機能の障害に対する音楽療法」</b></p> <p>木沢記念病院 中部療護センター<br/>リハビリテーションセンター 奥村 由香<br/>音楽療法士 主任</p>  |
|                 |   | 16:50～<br>17:00 | <p><b>会長挨拶</b></p> <p>聖徳大学 村井 靖児</p>  |

# 私の自閉症40年史

— TEACCHとのコラボレーション30年 —

佐々木正美

自閉症スペクトラムを、親の拒否的・攻撃的養育の結果とする情緒障害説が華やかで、非指示的・絶対受容的心理療法が主流であった時代があり、学習理論に基づいた行動療法の時代を経て、統合（インクルージョン）教育に希望や活路を見い出そうとした時代があったが、それらいずれにも失望していた時、ノースカロライナ大学でエリック・ショプラーらによって研究・開発・実践されていたTEACCHプログラム・モデルに出会った。新たな開眼であり大きな飛躍の原点であった。

従来のように、自閉症を治療的に治そうとするのではなく、自閉症の子どもや人たちが自閉症のまま、幸福に健康に学び生きていくことができるように、治療者や教育者がどのような努力をするべきかを追求するこのプログラム・モデルは、現実に自閉症スペクトラムの人々の機能や能力の可能性を大きく発達・発展させるものであった。

その理念や方法の基盤は、視覚的・物理的構造化というもので、自閉症スペクトラムの人々が、可能な限りそのまま学習や適応をできるように、教室・職場・地域社会を改造していくことである。そのことがスペクトラムの子どもや人々の可能性や幸福度を、大きく発展させることになる。

## 〔略歴〕

1935年群馬県前橋生まれる。第二次世界大戦末期、滋賀県の農村に疎開をして、高校を卒業後単身上京。信用金庫等で6年働いた後、1966年新潟大学医学部卒業。東京大学精神科で研修後、1970年ブリティッシュ・コロンビア大学児童精神科に留学。帰国後国立秩父学園（重度知的障害児施設）、小児療育相談センター（横浜市）等を経て、1997年川崎医療福祉大学教授（現在特任教授）。この間1982年TEACCH部との親交が始まり、1992年ノースカロライナ大学臨床（非常勤）教授、現在に至る。

## 〔主要著書〕

自閉症児のためのTEACCHハンドブック 学習研究社 2008

自閉症児のための絵で見る構造化（共著）1・2 学習研究社 2004・2006

TEACCHプログラムによる日本の自閉症療育（共著） 学習研究社 2008

アスペルガーを生きる子どもたちへ 日本評論社 2010

自閉症のTEACCH実践（編・著）1・2・3 岩崎学術出版社 2002, 2005, 2007

## 〔臨床・研究・実践活動〕

児童・青年・家族にかかわる多様な精神医学・精神保健の、医療と福祉と教育の境界領域の活動を、非常勤の大学病院での臨床をはじめ、リハビリテーションセンターや地域療育センター等で40余年間実践してきた。

全体講演 11月12日(土) 10:00~12:00

“あたり前”であること  
～被災者支援のあり方を考える～

儀賀 理暁

「あんなのを見る前に死んでしまえば良かった。最初は生き残って良かったって浮かれていたけど、こうして生きているのも地獄だよ・・・。」

「手を伸ばして、何とかあいつの腕には触ったんだ。でも、水の力が強くてな、そのまま流されちゃった。自分だけこうして生きていていいのかな・・・。」

「ホントの根なし草よ、わかる？どこにも何にもないの。行くところも帰るところも・・・。」

「本当はこんなゆっくりしている時じゃないんだ。昆布が終わって、これからわかめを始めるところだったんだから。でも、もう何にも無くなったからなあ・・・。」

「それでもね、ああ、海ってきれいだなって感じたんです、昨日。子どもの頃から何度も見ていた風景がなくなっちゃったし、家族や知り合いが奪われてしまった事を思うと、憎んでも憎んでも憎みきれないはずなのに、ね・・・。」

「明りが灯った時、みんなで泣きました。小さなあたり前がどんなに有難い事かって・・・。」

私が気仙沼の避難所で医療支援をさせて頂いた際に伺ったお話の一部です。さて、私たちに出来る事は何でしょうか。私たちがすべき事は何でしょうか。皆さまとともに考えてみたいと思います。

<プロフィール>

慶應義塾大学医学部卒業。慶應義塾大学病院研修医(外科)。慶應義塾大学医学部外科学教室入局。帝京大学医学部外科学講座助手、埼玉医科大学総合医療センター呼吸器外科助手を経て、現在、同センター呼吸器外科講師・緩和ケアチームリーダー、およびフェリス女学院大学音楽学部非常勤講師。

日本外科学会指導医・専門医、日本呼吸器外科学会評議員・専門医、日本緩和医療学会代議員・暫定指導医・ガイドライン作成委員・被災者支援委員、がん治療認定医機構暫定教育医・認定医、その他。

全体講演 11月13日(日) 14:50~16:50

## 認知機能の障害に対する音楽療法

奥村 由香

“社会的に認知される”、“メロディーを認知する”など、私たちは生活の中でも、音楽療法においても、「認知」ということばをよく耳にします。

では、あらためて、人のこころの働きから「認知」を考えた時、認知機能とは、どのような働きのことをいうのでしょうか。そして、その機能の障害では、どのような症状が引き起こされるのでしょうか。

本講演では、まず、認知機能に関心を持っていただけるよう、当院における交通外傷の重度後遺症と、認知症に関わる軽度認知障害に対する音楽療法をご紹介します。その臨床経験での気づきを通して、認知機能と音楽(活動)の接点、認知機能の障害に対する音楽療法のニーズや役割などについて再考していきます。

### <プロフィール>

京都光華女子短期大学部、星槎大学共生科学部共生科学科卒業。

日本音楽療法学会認定音楽療法士、(社)日本心理学会認定心理士。

(財)ヤマハシステム講師を経て、岐阜県音楽研究所を中心として音楽療法について学ぶ。岐阜県音楽療法士認定後は、県内の高齢者デイケア施設や肢体不自由児通所施設などで非常勤音楽療法士として勤務する傍ら、岐阜県音楽療法研究所非常勤研究員、星城大学リハビリテーション学部非常勤講師等を兼務。2003年4月より現職。主として交通外傷による意識障害や認知機能障害に対する音楽療法の臨床及び研究に携わっている。所属学会は、日本音楽療法学会、日本意識障害学会、(社)日本心理学会、(社)日本LD学会等。



# 分科会

11月12日(土) 13:30~17:00

## ①ワークショップ: 息(いき)・声(こえ)・身体(しんたい)

土野 研治

私たちの営みに息は欠かすことが出来ません。声はその息に乗って出されます。また息は身体によって支えられます。息は「自らの心」と書くように、その時々の状態を端的に現します。また声は人との関係性によって大きく変容します。今回のワークでは、この関係性を軸に自己と他者の息(いき)・声(こえ)・身体(しんたい)について考えてみようと思います。

### <プロフィール>

東京生まれ。国立音楽大学声楽科卒業後、演奏活動を行い、2007年9月には、京都清水寺大講堂円通殿、2010年9月には、スウェーデンのマルメ、ナッカ等でバトンリサイタルを行った。大学卒業と同時に埼玉県内の特別支援学校に勤務し、障害児の音楽指導や音楽療法の実践研究を行う。その業績に対して、1993年第2回音楽教育振興賞(毎日新聞・(財)音楽教育振興財団共催)、1996年埼玉県教育委員会教育長表彰、1998年下総皖一音楽賞を受賞。

現在、日本大学芸術学部教授、日本音楽療法学会認定音楽療法士、日本音楽療法学会理事、日本演奏連盟会員

著書に「心ひらくピアノ」(2000:春秋社)「声・身体・コミュニケーションー障害児の音楽療法ー」(2006:春秋社)共著に「音楽療法の実践」(1995:牧野出版)「音楽療法入門・下」(1998:春秋社)「障害児のリミック指導」(2000:黎明書房)他がある。

## ②事例の書き方:「つたわる」事例を書いてみよう!

今村 ゆかり

「事例レポートを書く」と聞くと、資格の申請や更新には必要だけど、「面倒だなあ」「頭が痛いなあ」「わかっているけど言葉にできないなあ」と色々な想いが頭をよぎります。締め切りが迫ってきても、なかなか腰をあげるのは難しいものです。「事例レポート」と構えてしまう前に、日常的なセッション活動のことをもう一度考えてみましょう。

通常のセッション現場では、他職種のスタッフと連携しているとしても音楽療法士は1~2名で多くのクライアントに接しているというのが実情です。つまりその現場で起こっていることを「音楽療法士の視点」からモニターし意味づけをしている専門職は1~2名しかいないということです。事例を書くためのスタートラインは、現場で起こっている「あんなこと」や「こんなこと」をその場にはいない人に伝えようとするということです。その

「伝えよう」という気持ちが事例を書くモチベーションになっていきます。

講習会当日は、学会発表のために事例を書く要点と事例を読む「読み手の視点」を紹介し、いくつかの創作事例をもとに、小集団で意見交換し事例を添削するような作業も含め進めてゆきます。

### <プロフィール>

横浜国立大学教育学部卒業、同大学院教育学研究学科音楽教育専攻音楽学専修修了。教育学修士。日本音楽療法学会認定音楽療法士。大学病院神経精神科・心療内科、単科精神病院、精神科クリニック、精神科デイケアなど主として精神科領域を臨床現場としている。東海大学講師。

## ③講義&ワークショップ:

音楽療法士が音を感じる/理解する/奏でること

岡崎 香奈

音楽療法場面において、セラピストがクライアントに対して使う音楽は、どのように奏でられているでしょうか。治療目標を達成するためには、臨床的意図を持ちながらクライアントのニーズに合わせて歌や楽器の伴奏をしたり、即興的に演奏したりなど、臨機応変に音や音楽を使いこなしていく能力が必要になってきます。

本講義では、演者の博士論文テーマである「音楽療法における音楽要素の臨床的使用とその役割」を基に、臨床的な音楽がどのような要素で構成されているか、そして各要素がどのような臨床的役割を持っているのかを解説します。そして、ワークショップでは、実際のセッションにおいて「臨床家/音楽家」である音楽療法士がクライアントに対して、どのように音を感じ、理解し、奏でていくか、ロールプレイを通してみなさんと共に体験してみます。実践者として、自分の音を知ること、相手の音を読むことにも深く繋がるワークになると思います。強制参加のロールプレイは行いませんので、聴講のみの方も歓迎です。お気軽にご参加ください。

### <プロフィール>

洗足学園音楽大学・大学院准教授、芸術学博士(DA)。英国王立音楽院ピアノ科卒。ロンドン・ノードフロビズ音楽療法センターにて英国音楽療法士資格、ニューヨーク大学大学院にて米国音楽療法士およびノードフ・ロビズ音楽療法レベルⅢ(教員資格)取得。日本音楽療法学会評議員および同学会認定音楽療法士、世界音楽療法連盟・養成教育委員。

現在、教鞭をとる傍ら洗足学園音楽大学音楽療法臨床センターおよび他施設にて知的障害児・者、肢体不自由児、精神障害者、脳梗塞患者対象の音楽療法を実践している。

**11月13日(日) 9:30~11:30**

#### ④事例検討:(仮題)加齢による難聴者への、

歌い続ける楽しさを提供する試み

～集団セッションでの介護職員との連携を通して～

事例提出者 金子 二三代

コメンテーター 山口 潤子

### <コメンテーター・プロフィール>

約25年前の大学在学中より音楽療法に興味を持ち、久保田牧子氏、古賀幹敏氏のもとで経験を積む。その後東京武蔵野病院、多摩済生病院に非常勤勤務。同じ頃、初富保健病院にて高齢者対象の音楽療法を開始する。聖徳大学音楽療法コースにて教鞭をとるなどを経て、現在は介護老人保健施設足立老人ケアセンターのデイケア、また有料老人ホームサンシティ柏に勤務。武蔵野音楽大学ピアノ科卒。日本音楽療法学会認定音楽療法士。

#### ⑤ワークショップ:ロールプレイを通して実践を振り返る

鈴木 千恵子

音楽を治療の媒体として利用する音楽療法は、対人援助職の1つとして幅広い領域で実践が行なわれています。セラピーで用いられる音や音楽が何の目的で行われるのか把握し、そのことをセラピストが自覚することは重要なことですが、対象者(クライアント)にどのように伝わっているのか、どのような意味をもたらすのかを理解することは、なかなか難しいことです。また普段は落ち着いて考え、振り返ることもなかなかできません。このワークショップでは、音、音楽、楽器、言葉、視覚教材、身体などを用いたロールプレイを通して参加者と共有しながら実践を振り返っていきたくて考えています。

### <プロフィール>

桐朋学園大学短期大学部(ピアノ専攻)卒業後、ウィーン等で研鑽を積む。1976年より松井紀和氏(山梨日下部病院・単科精神病院、当時院長)のもとで音楽療法を学び、山梨大学教育学部附属養護学校、日本臨床心理研究所を経て、現在は玉川大学、桐朋学園芸術短大、昭和音楽大学にて教鞭をとっている。国際表現病理学会員。日本音楽療法学会評議員。日本音楽療法学会認定音楽療法士。

著書:「音楽療法の実際」牧野出版、松井紀和、鈴木千恵子他。

#### ⑥ワークショップ:

目的・場・タイミングに合わせた音・音楽の使い分け

根岸 由香

「音・音楽」は、合図として、生活にリズムを与え活性化させるものとして、覚醒水準を調整するものとして、順序性や規則性を呈示し秩序構成させるものとして、情動の発散や鎮静を促すものとして、雰囲気やイメージそして意図や文脈を感じさせるものとして…等々活用され、様々な効用を与えてくれます。また、ノンバーバルなコミュニケーション手段であるため、言葉に苦手意識のあるクライアントや、上手く自己を表現できないクライアントにとっても理解しやすく、容易に自由に自己を表現できる手段としても有効です。概念形成の困難なクライアントに対しては、文脈や意味を伝えるツールとしての活用も期待できます。これらの効用を考慮しながら、実際のセッションに活かしていく方法について、目的・場・タイミング等に合わせた目的的な音・音楽の使い方及び使い分けについて、体験し学び合う機会としたいと思います。

### <プロフィール>

日本音楽療法学会認定音楽療法士 臨床発達心理士 都立村山養護学校及び東京学芸大学附属特別支援学校勤務を経て、現在は筑波大学附属大塚特別支援学校教諭。

兵庫教育大学大学院修士課程(芸術系音楽)修了、筑波大学大学院修士課程カウンセリング専攻(リハビリテーションコース)修了、民族音楽の探究の旅と民族楽器の収集が趣味、手作り楽器やセッションで使用する衣装や小物を製作することが特技。

◆◇◆ 講習会費 ◆◇◆

以下の表をご参照ください。

2日全日参加

| 会員別       | 講習会費             |
|-----------|------------------|
| 一般        | 18,000 (17,000)円 |
| ニュース/賛助会員 | 16,000 (15,000)円 |
| 正会員       | 13,000 (12,000)円 |
| 学生        | 15,000 円         |

1日参加

| 会員別       | 講習会費            |
|-----------|-----------------|
| 一般        | 10,000 (9,000)円 |
| ニュース/賛助会員 | 9,000 (8,000)円  |
| 正会員       | 8,000 (7,000)円  |
| 学生        | 8,500 円         |

午前・午後参加

|            |         |
|------------|---------|
| 1 2 (土) 午前 | 3,500 円 |
| 1 2 (土) 午後 | 7,000 円 |
| 1 3 (日) 午前 | 3,500 円 |
| 1 3 (日) 午後 | 7,000 円 |

注意事項

1. 10月11日までにご入金の場合、( ) 内の割引料金となります。
2. 会員の方へ：申し込み時点で、平成23年度の会費を納入されていない場合、会員料金の対象となりません。ご了承ください。
3. 「学生料金」の方は、講習会当日、受付にて学生証をご提示ください。ご提示頂けない場合は、学生料金が適応されません。また、割引期間はありませんのでご了承ください。
4. 両日とも午前または午後の枠単位で申し込むことができます。会員／非会員に関わらず一律料金となります。

キャンセルについて…キャンセルは、11月4日までにご連絡を頂いた場合は、手数料1,000円を差し引いたうえで返金致します。11月5日以降は返金致しませんので、ご了承ください。

◆◇◆ 問い合わせ先 ◆◇◆

講習会専用 E-mail: tamt-kousyukai@softbank.ne.jp  
電話: 080-4292-2887

受付係は常駐しておりませんので、メール又はお電話にメッセージをお残してください。

◆◇◆ 申込方法 ◇◇◆

受付開始日        会員：9/1（木） 一般：9/10（土）

○申込方法には、「郵送」「インターネット」の2種類があります。

振込額を確認し、郵便局(ゆうちょ銀行)で振込む

※他の金融機関からも、郵便局(ゆうちょ銀行)口座に振込みができます。

①ゆうちょ銀行からのお振り込みの場合

口座番号 00100-1-566883 加入者名 東京音楽療法協会

②他の金融機関からのお振り込みの場合

ゆうちょ銀行店番号019 記号00100 当座0566883 加入者名 東京音楽療法協会

郵送でお申し込みの場合

この案内パンフレットには含まれている  
「申込用紙」に必要事項を記入後  
下記、申込先にご郵送ください。

申込先：東京音楽療法協会講習会係  
〒170-0011 東京都豊島区池袋本町4-23-2  
ハイムM203号

インターネットでお申し込みの場合

下記、東京音楽療法協会ホームページより  
お申し込みください。

URL：<http://www.k3.dion.ne.jp/~tamt/>

お振込と申込書の確認ができましたら、受付完了となります。  
後日、受講案内ハガキをお送りしますので、必ず当日ご持参ください。

**※上記方法でのお申し込み締切は11月5日必着とさせていただきます。尚、締切以降のお申し込みについては、メールにてお問い合わせ下さい (E-mail : [tamt-kousyukai@softbank.ne.jp](mailto:tamt-kousyukai@softbank.ne.jp)) 。**

注意事項

◆受講料のお支払いについて

- ・専用払込取扱票に必要事項をご記入の上、お振り込みください。
- ・専用払込取扱票がない場合は、郵便局にある用紙をご利用ください。
- ・必要事項および通信欄に「会員の種類（一般、正会員など）」と参加形態「2日全日、1日、午前・午後」を記入してお振込ください。

※振込金額が不足の場合は受付ができません。また多い場合は、当日返金致しますが、手数料として1,000円を差し引かせて頂きます。お間違いのないようご注意ください。

◆受付は先着順となっております。定員（150名）になり次第締め切りとさせていただきますので、お早めの手続きをお勧め致します。定員状況は、ホームページにて随時ご案内しておりますが、申込状況により締め切らせていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

◆手続きをされたにもかかわらず、講習会間近になっても受講案内がお手元に届かない場合は、お手数ですが、問い合わせ先までご連絡ください。